

保護者各位

学校評価に寄せられた意見について

富士川第一小学校
校長 山本 和洋

秋風が気持ちの良い季節となりました。保護者の皆様には、日頃より富士川第一小学校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、7月に保護者の皆様からいただいた「学校評価アンケート」に寄せられたご意見について、全校に関わるものや、多かった事項について教職員で話し合いました。また、アンケートの結果を系統的に分析し、これまでの教育活動を振り返りました。

1 重点目標・学習について

- 令和5年度の重点目標「えがおでチャレンジ!」について、児童の91.9%(R3後期:90.0%)が頑張ったと回答しました。保護者からは、89.5%(R3後期:92.8%)が「とてもそう思う・そう思う」と回答しました。

◇ 重点目標について昨年度(後期)と比較すると、児童 1.9 ポイントのアップとなりましたが、保護者からの評価は、3.3 ポイントのマイナスとなりました。しかし、全体の9割が重点目標「えがおでチャレンジ!」に向かって頑張ったと答えられることは、素晴らしいと思います。今後も、失敗を恐れず主体的に挑戦していけるよう、支援してまいります。

- 児童の92.4%が「進んで授業に取り組んでいる」と回答したのに対し、保護者からは87.7%がそう感じると回答をいただきました。
- 家庭学習では、児童の82.8%が「計画的に学習している」と回答しているのに対し、保護者からは69.9%と開きがあり、認識に差があることが分かりました。
- 読書習慣が身についているに対する回答は、児童86.6%、保護者55.7%とその差30.9ポイントとかなりの開きがありました。

◇ こどもの認識と大人が望む思いには、差があります。家庭学習は、学校から与えられた課題をこなすことが目的ではありません。得意なことや興味のあることに取り組むことで自分の良さを伸ばしたり、苦手なことや課題になっていることを克服することで可能性を広げたりする場でもあります。

そこで重要となるのは、学習内容や時間を自ら考え、計画的に進めることです。学校では、自ら考えて学習を進められるよう、家庭学習の取り組み方についても指導してまいります。

ご家庭でも見守りやお声がけをしていただけるとありがたいです。

◇ 読書については、学校での読書量が伸びているのに比べ、学校外での読書量が少ないことが指摘されています。読書の魅力を発信し、学校外でも習慣的に読書ができるよう指導してまいります。

2 「子供たちにつけさせたい力」について

保護者の皆様に、子供たちにつけさせたい力についてうかがったところ、

- 良いこと悪いことの区別をつける
 - 時間を守る、提出物を出す
 - 正しい言葉遣いやあいさつができる
 - 自分で考え、判断し、行動する
- 等、人として当たり前の力を当たり前に付けてほしいという願いが伝わってきました。

中でも特に多かった意見は、

- 思いやりや感謝の気持ちをもって人に接するというご意見でした。

☆1問毎のアンケート結果は、後日、学校ホームページから確認できるようになります。

<https://www.city.fuji.shizuoka.jp/kyouiku/rn2ola000004nkmy.html>

